

終末期医療の現在とIT

—八王子からの報告—

東京都八王子市 松本クリニック院長
松本清彦

在宅医療の本質的な問題

一体、何を make decision するのか？

それを、誰に対して行うのか？

そもそも、我々は何ができるのか？

当院の患者数とその分布

有料老人ホーム入居者

60代：3名、70代：9名、80代：80名、90代：46名

合計：138名

一般在宅

20代：1名、40代：3名、50代：6名、

60代：14名、70代：31名、80代：30名、90：16名

合計：101名

特養ホーム（100+80+70=250）

平均年齢：86.8歳、平均介護度：要介護3.91

訪問診療の実際①

定期的な訪問診療（原則的に二週間に一回）

24時間対応（電話対応、臨時往診）

医療連携、救急搬送の手配など

長期的な療養計画の策定

居宅療養指導（介護サービスとの連携）

終末期医療

緩和ケア、看取り、死亡診断

訪問診療の実際②

【各種文書の作成】

主治医意見書、療養同意書、成年後見人診断書・鑑定書

【ご家族との面談】

IC、家族あてサマリー、看取り同意書

【在宅（あるいは施設）における衛生管理】

インフルエンザ予防接種、ノロウィルスなど

家庭内（施設内）感染の防止と対応

【介護者の健康管理】

在宅医療で可能な治療法（手技）

- 経管栄養（鼻腔、胃瘻）の管理
- 膀胱留置カテーテル
- 気切／人工呼吸器管理
- 在宅酸素療法
- 末梢点滴
- 中心静脈栄養
- 麻薬などによる疼痛コントロールなど

機能強化型在宅療養支援診療所とその連携

そもそも、なぜ連携が必要なのか？
「機能強化型在宅療養支援診療所」とは何か？

24時間対応（電話、往診）の八王子市連携医療機関

数井クリニック、渡辺医院、高山外科眼科、
伊藤内科クリニック、はちせい健友クリニック、
南大沢メディカルプラザ、
そして松本クリニック

「看取り」の現実

看取り件数（平成26年）

| | 人数 |
|----------|----|
| T特養ホーム | 10 |
| J有料老人ホーム | 12 |
| F特養ホーム | 14 |
| A有料老人ホーム | 7 |
| 一般在宅 | 48 |

「看取り」とは？

24時間対応で、単に死亡診断に来ることだけでなく、
「ここ（自宅／施設）で最後まで看取ってほしい」
との要望に応えること

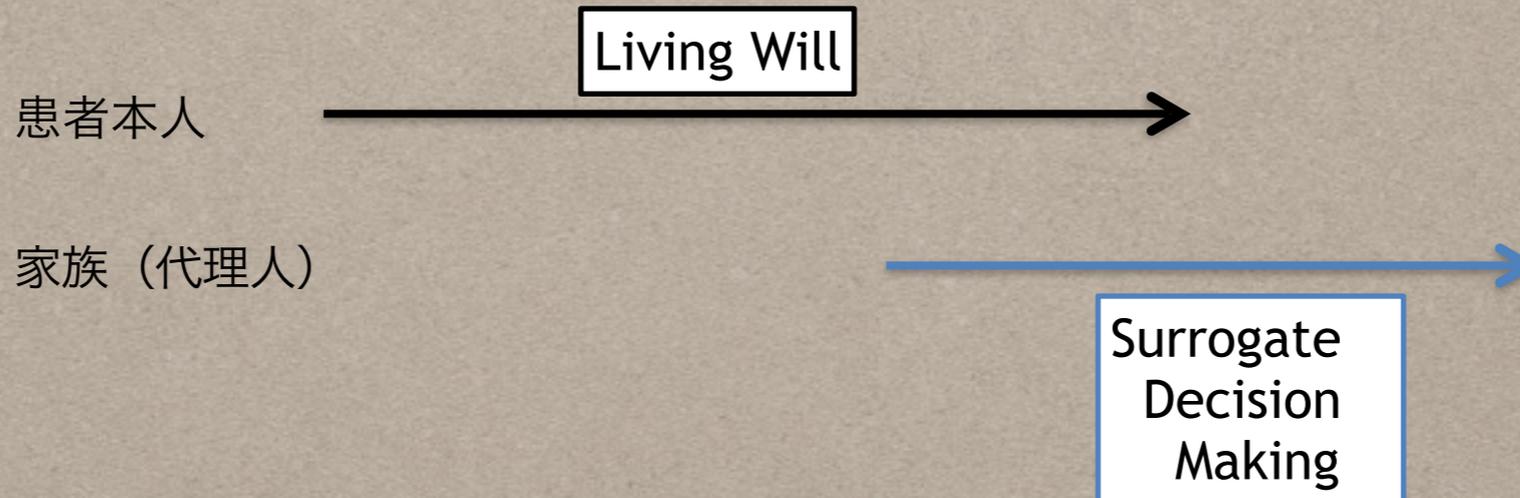
そのためには？

食事、排泄、入浴のケア、居室の清掃、ベッドの整理、
清潔なシーツ、洗濯された衣服、挨拶、声掛け等

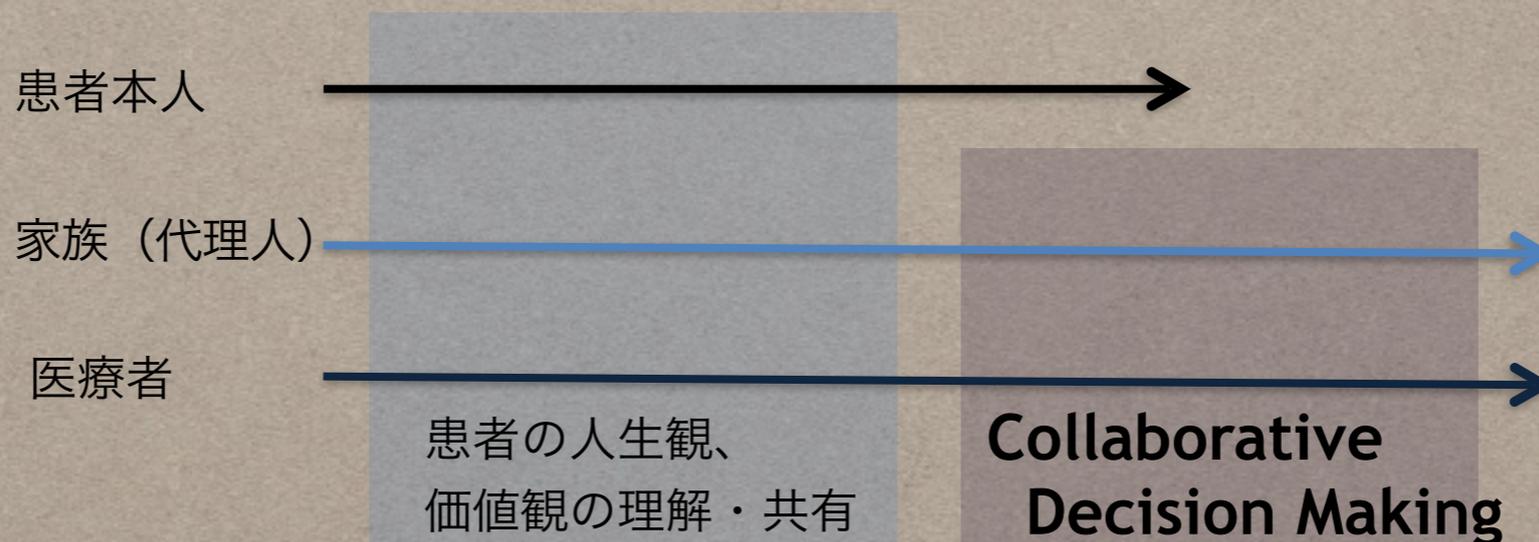
利用者（患者）の「生活史」を理解すること

ADVANCED CARE PLANNING

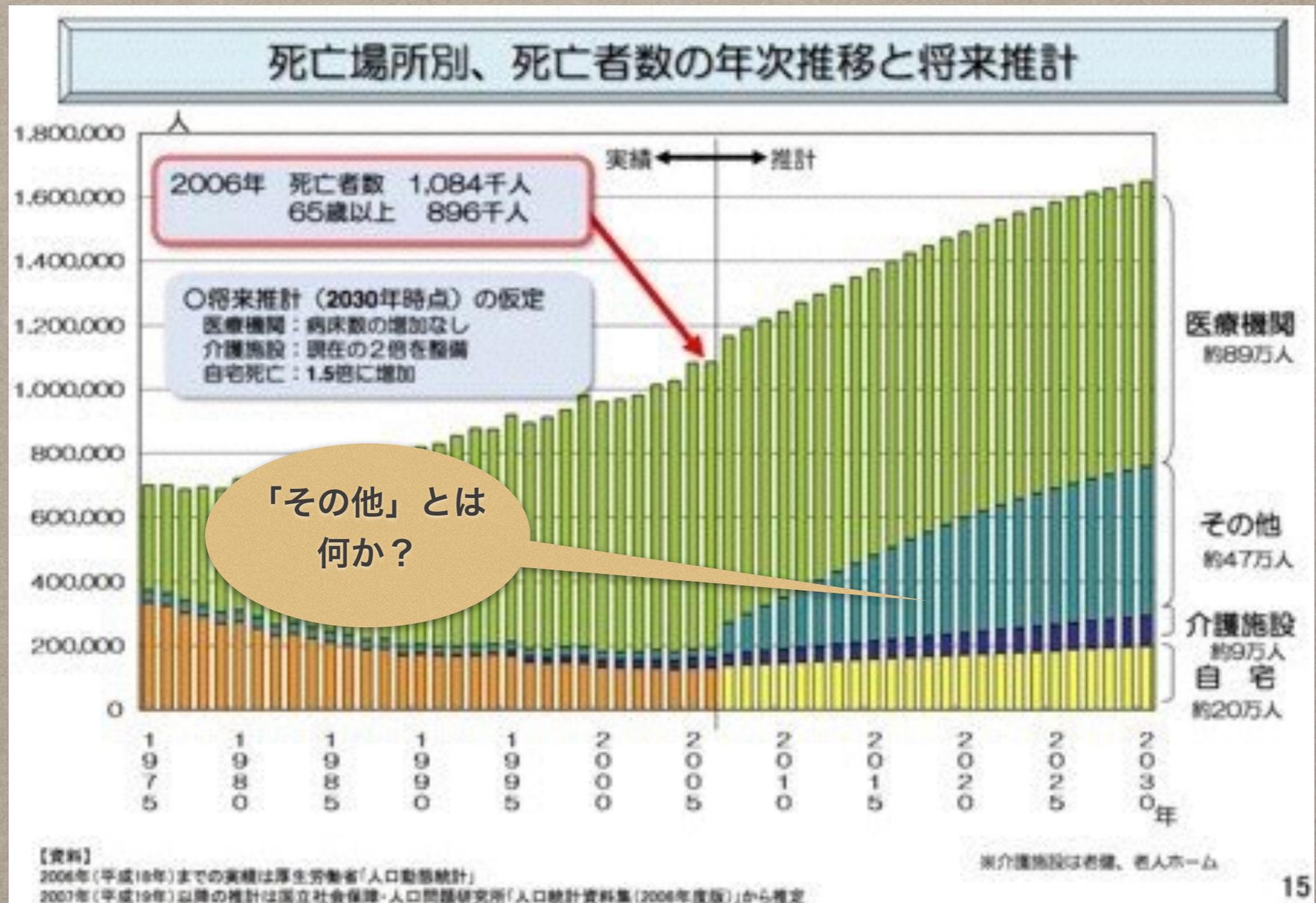
従来のAdvance Care Planning



新しい Advance Care Planning



死に場所は、どこ？

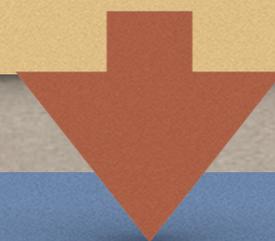


「平成24年度診療報酬改定について」厚労省資料より

看取り先（死に場所）の確保が困難！

- 現在、年間120万人の死亡者が発生しているが、2030年には160万人に増加する。つまり、40万人の死亡者数の増加。
- 病院（病床）はもう増えない
- 単身世帯が増えて、特に要介護状態の高齢者が増えることを想定すると、在宅死はそれほど増えない。

この40万人は、一体、どこで死ぬのか？



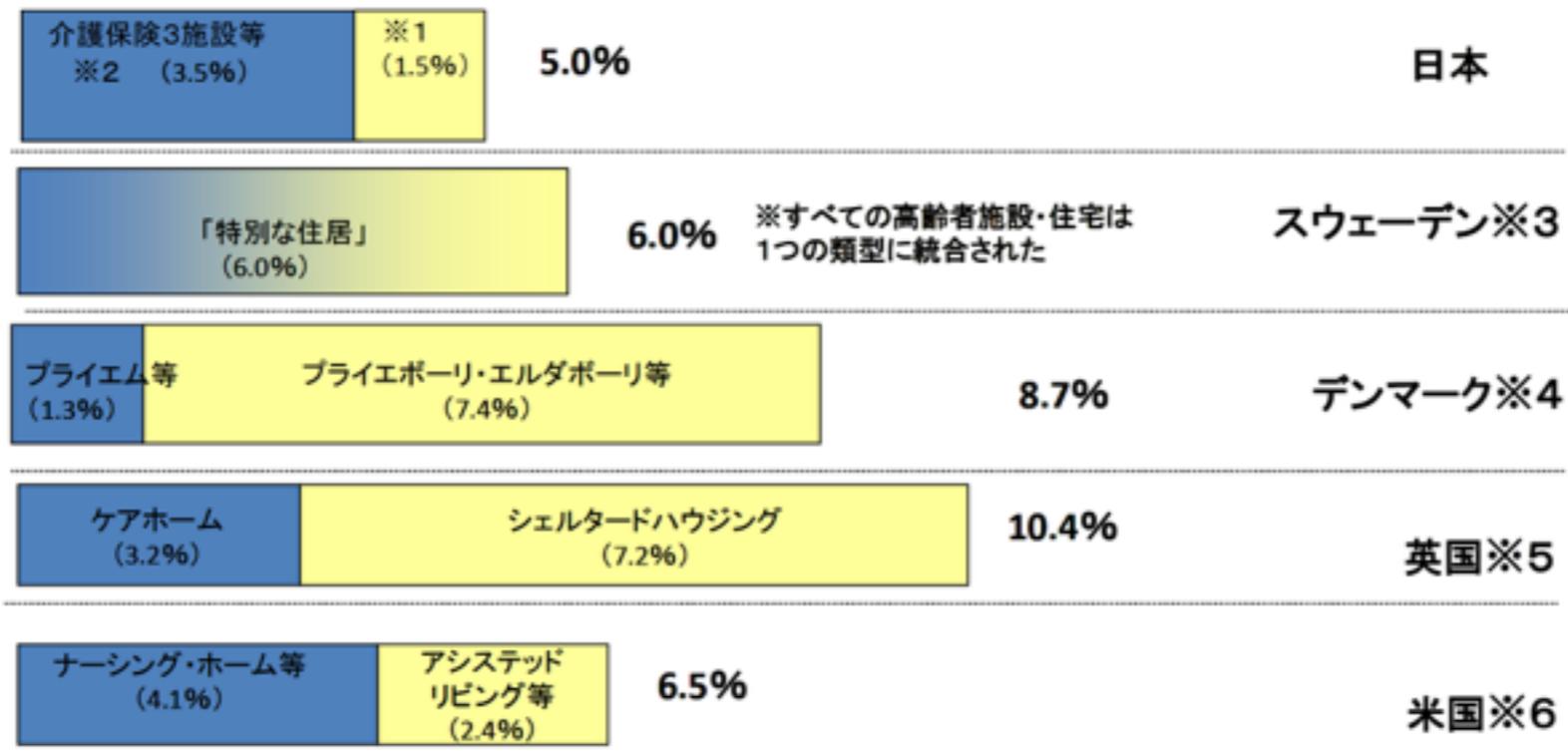
有料老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅、
サービス付き高齢者住宅など以外にはない！

日本の介護施設・高齢者住宅の現状

各国の介護施設・高齢者住宅の状況

日本は、各国と比較して、全高齢者における高齢者住宅の整備割合が低い。

全高齢者における介護施設・高齢者住宅等の定員数の割合(2008)



※1 シルバーハウジング、高齢者向け優良賃貸住宅及び高齢者専用賃貸住宅(ともに国土交通省調べ)、有料老人ホーム、養護老人ホーム及び軽費老人ホーム(平成20年社会福祉施設等調査)
 ※2 介護保険3施設及びグループホーム(平成20年介護サービス・事業所調査)
 ※3 Statiska Centralbyrån, "Statistisk Årsbok för Sverige 2010"
 ※4 Danmarks Statistik, "StatBank Denmark"
 ※5 Laing and Buisson, "Care of Elderly People UK Market Survey 2009" 及びAge Concern, "Older people in the United Kingdom February 2010"から推計
 ※6 Administration on Aging U.S. Department of Health and Human Services, "A Profile of Older Americans: 2009"

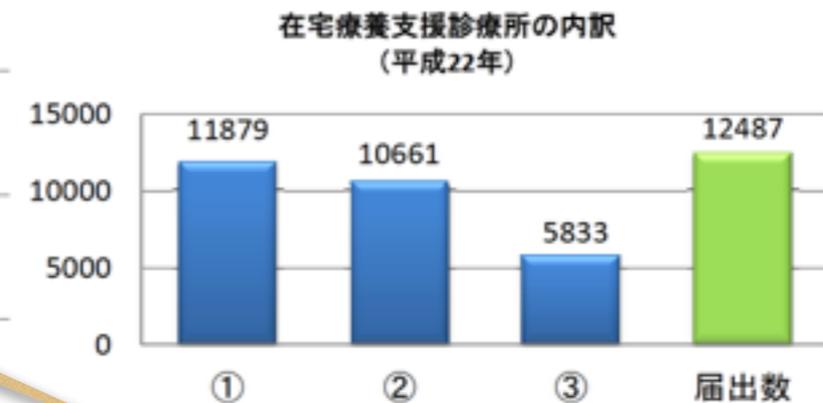
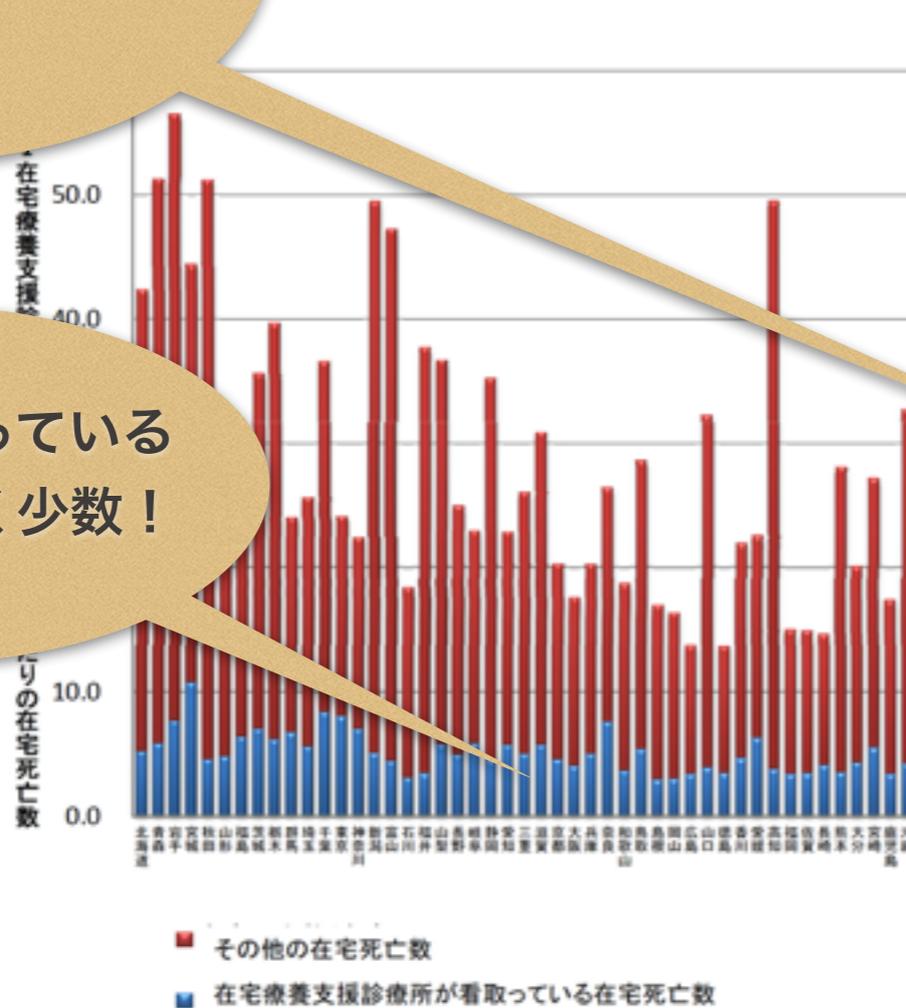
柱となる在宅医療支援診療所の現状

年間1名も看取りを行っていない機関が約半数！

診療所が看取っている死亡者は、ごく少数！

【在宅】在宅看取り1名以上の在宅療養支援診療所と在宅死亡の比較(都道府県別分布)

平成23年10月5日
 中医協総会
 資料総-2 p71,72,74



- ① 報告数
- ② 担当患者数1名以上機関数
- ③ 在宅看取り数1名以上機関数

出典: 保険局医療課調べ(平成22年7月1日時点)

「平成24年度診療報酬改定について」厚労省資料より

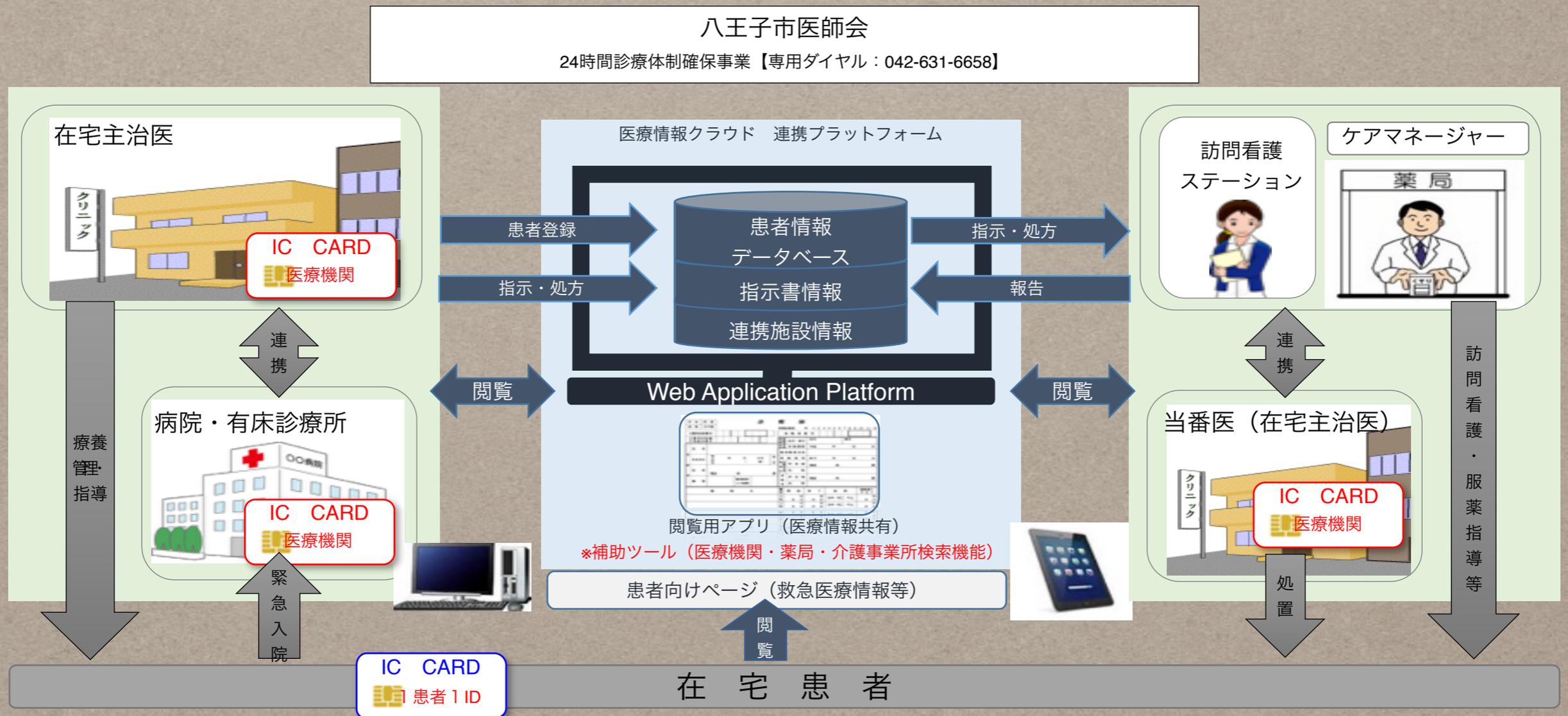
八王子市医療情報クラウド連携プラットフォーム —在宅療養推進区市町村支援事業

- 24時間診療体制確保のために、東京都補助金を使った八王子市と八王子医師会との共同プロジェクト。
- プロジェクト期間は三年間（平成25年～27年）。その後は実用フェーズに入る。
- システムの目的は、患者情報をクラウド化することで一元的に管理し（1患者1ID）、地域包括ケアシステムの多職種連携を支援するだけでなく、医療機関相互の連携をも促進すること。
- 患者情報へのアクセスは、医療従事者と患者共に、IDカードを使う。
- このプラットフォーム上で稼働するアプリケーション（つまりビジネスモデル）としては、救急時の患者情報閲覧、健康ポータル、母子手帳、お薬手帳などを想定する。
- 既存の電子カルテに対しては、このプラットフォームに情報を取り込むためのインタフェース・アプリケーションを用意する。

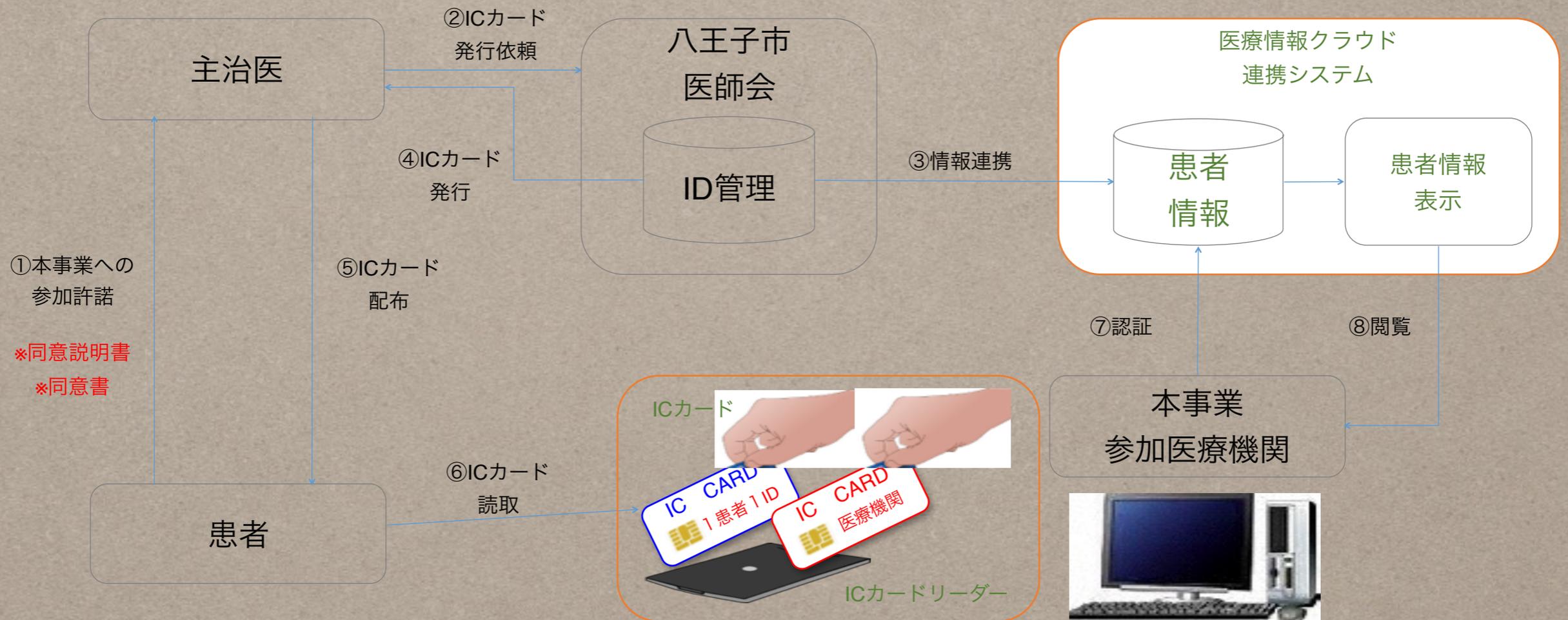
システム全体のイメージ

八王子市医療情報クラウド連携プラットフォームVer.1.0

【在宅医療連携バージョン】

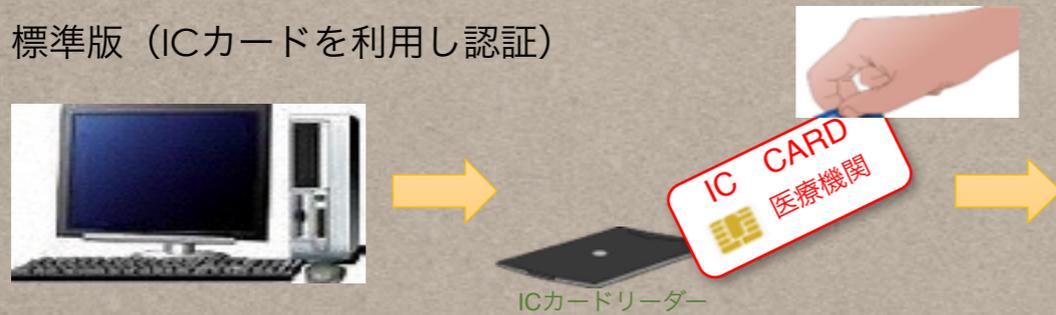


ICカード利用のイメージ



ログインのイメージ

1) 標準版 (ICカードを利用し認証)



2) 手元に医療機関のICカードが無い場合



3) iPadを利用する場合、もしくはICカードを忘れた場合



患者検索実行

患者さんの最新情報

システムの将来像

八王子市医療情報クラウド連携プラットフォームVer.2.0

【情報の利活用バージョン】

